

第57回大学部会研究集会

共に生き共に進もう—新しい連帯をめざして
震災学の可能性—大学とボランティア

日時 8月28日(水) 29日(木)
会場 仙台国際ホテル
レポートは10月7日「各地区の夏期行事—東北・北海道地区報告」をご覧ください。

講演 I

新しい可能性との出会い

東北学院大学災害ボランティアステーションの活動から、私たちが体験し、学び、考えたこと
東北学院大学教授 阿部重樹

東北学院大学では、2011年の3月29日に災害ボランティアステーションが設立され、活動を開始した。東北学院大学では、東日本大震災が起きた前年から本学学生のボランティア活動の拠点となる学内に設置することを検討が行われていたものの、それ以前にはこうした拠点施設(センター)に関する活動もなかった。震災後の活動は、被災状況の中にあつた大きなものがあった。その中で、大震災をきっかけに、災害ボランティア活動の拠点となる施設(センター)の存在と活動について、特筆されるべき活動を見えてきたと理解している。復興期から復興期へという時間の経過とともにあらゆる状況が変化してきているなか、ボランティア活動への取り組みが始まったことが指

化や組織化に眼差しを向ける意義と必要性はいつまでも高まっている。ボランティア活動が学生の学びと成長にとって大きな意味をもつ。また、ボランティア活動が学生の学びと成長にとって大きな意味をもつ。また、ボランティア活動が学生の学びと成長にとって大きな意味をもつ。

「ボランティア活動が学生の学びと成長にとって大きな意味をもつ。また、ボランティア活動が学生の学びと成長にとって大きな意味をもつ。また、ボランティア活動が学生の学びと成長にとって大きな意味をもつ。」

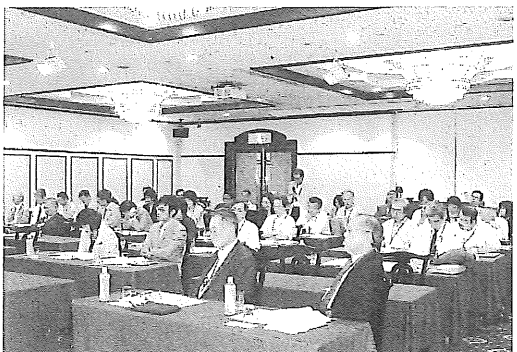
講演 II

食えることと住まうこと

東北学院大学副学長 佐々木俊三

東日本大震災が私たちに直面させたものは、深い意味での「経験」だ。心に傷を負った。心に傷を負った。心に傷を負った。

「経験」だが、トラウマ動かし、襲うはずのない海が陸地へ侵襲し、絶対安全とされた放牧地が人々を難民化した。生活の安全を脅かした。生活の安全を脅かした。生活の安全を脅かした。



ト教の「最後の晩餐」もそのことを私たちに告げている。「食べる」とは「命を食べる」とあり、魂を共有して共同体を形成することもあつた。食は、何の神秘でもない。生まれて母の乳を飲む。食は、何の神秘でもない。生まれて母の乳を飲む。

講演 III

MG-LACにおける「プロジェクト型自主活動」を通じた社会貢献の試み

宮城学院女子大学准教授 市野澤潤平

宮城学院女子大学では、2010年度に設立した「宮城学院女子大学リサーチ・アクション・センター(MG-LAC)」を通じて、学生による「プロジェクト型自主活動」を支援している。「プロジェクト型自主活動」とは、授

講演 IV

被災地の心に寄り添うボランティア活動

東北学院大学落語研究会OB会長 畑中純夫

この度の震災に際し、本学に多くの方がボランティア活動に携わっており、被災地へ笑顔と元気を届ける「慰問落語会」を開催し、延べ24回を数え、現在も続行中である。被災地へ笑顔と元気を届ける「慰問落語会」を開催し、延べ24回を数え、現在も続行中である。

そんな中、唐桑半島の先、鮎立(しづな)という小さな港町の避難所で開かれる「さくら祭」へ、慰問に行く事になりました。瓦礫を縫い、やっとなにやら縫った。瓦礫を縫い、やっとなにやら縫った。瓦礫を縫い、やっとなにやら縫った。

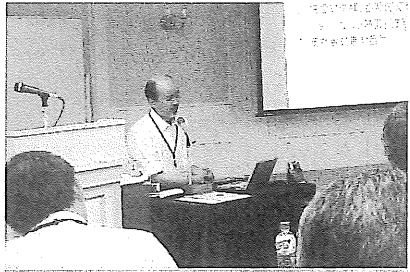
関西地区

キリスト教主義学校に
働く者の課題と展望

第55回夏期研修会

第55回夏期研修会が8月1日(土)の泊りの日程で京都府・丹波市に於いて法政大学46学部の参加で行われ、今回は教育同僚事務局主催の職員研修会も参加されました。

今夏のリポートは「キリスト教主義学校に働く者の課題と展望」で、講師に恵泉女学院大学学長の川島堅一先生をお招きし、初日は実行委員長、樋口進先生の奨励、開校挨拶がもたら、関西地区代表理事・森孝一先生に挨拶をいただいた後、川島堅一先生から「キリスト教主義学校に働く者の課題と展望」と題して講演がなされました。写真上、講演の内容は、まず



の、あから宗教団体に説明責任が問われる時代である。従って時間や場所の主催者の明記なきものは、主催者(メンバー)の責任を明らかにする物なき団体は、怪しい学校である。キリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。キリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。

学校で出来るキリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。キリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。

学校で出来るキリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。キリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。

学校で出来るキリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。キリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。

学校で出来るキリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。キリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。

学校で出来るキリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。キリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。

学校で出来るキリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。キリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。

学校で出来るキリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。キリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。

学校で出来るキリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。キリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。

学校で出来るキリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。キリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。

学校で出来るキリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。キリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。

学校で出来るキリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。キリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。

学校で出来るキリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。キリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。

学校で出来るキリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。キリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。

学校で出来るキリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。キリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。

学校で出来るキリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。キリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。

学校で出来るキリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。キリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。

学校で出来るキリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。キリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。

学校で出来るキリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。キリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。

学校で出来るキリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。キリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。

学校で出来るキリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。キリスト教主義学校に働く者の課題と展望は、怪しい学校である。

関西地区

キリスト教主義大学が語る希望
第57回大学部会研究集会

去る、2013年9月5日から6日まで、広島

女学院大学及びホテルグランドパレス広島を会場として、第57回大学部会研究集会が開催された。主

題は「キリスト教主義大学が語る希望」で、参加者は22名であった。

9月5日、広島女学院大学・ゲーンズチャペルにて開会礼拝が行われ、

中村信博氏(関西地区大学部会委員長、同志社大

学部会委員長、同志社大

学部会委員長、同志社大

学部会委員長、同志社大

学部会委員長、同志社大

「福音」を「福音」として川島堅一先生による聖書研究と、第一時間、一時間半にも及ぶ講演の後、分団に別れて自己紹介を兼ねて各校でカル

対策がなされているか、その準備があるか、等、各自の経験や思いを熱心に話し合いのとき

が持たれました。翌2日朝は、「弱さ」の問いかけ、パウロの

「名」を「名」として、楠木茂貴(名古屋中学校・高等学校

校監、教科主任)

子大学が詩篇133編1-3節を基に「なんと

い恵み、なんといい喜

び」と題して奨励がな

された。礼拝後、森孝一

氏(関西地区代表理事、神戸

女学院理事長・院長)と

黒瀬眞一氏(広島女学院

院長、広島女学院大学

学部長)から、開会の

挨拶がなされた。森氏

からは開会の歴史と現状

について、黒瀬氏からは

加賀の歓迎とキリスト

教学校の危機について述

べられた。



ンションについて、具体

的な事例を交えて紹介さ

れた。Online Courseの紹

介、ピースセミナーの実

践報告がなされた。第

二、第三の両講演に

対して、榎方信彦氏(松山

大学・中央教育研究所、

東雲女子大学学長)がコ

メンターとして、キ

リスト教主義の大学改革

する大学のビジョン、M

とマーケティングの方法

について、山本俊正

氏(関西学院大学教授)

が講演した。

論に触れ、応答質問した。

開会礼拝では、澤村雅

史氏(広島女学院大学

学ぶことがあり、おもひ

ろい。「キリスト教Q&

A」初心者にとってあ

りがたい。楽しみにして

いる。配布されてまず読

む、と好評である。「教

育者物語」も新しい歴史

を掘り起こし、今後の連

載に期待が膨らむ。一

方では、現場のリアル

な声(喜び・苦しみ)が

少なく、記録に終始す

る意味合いが強いとい

う指摘もあった。

②今後のアイデア

読者の大半がノンクリ

スチャンであることをふ

まえて、編集をしてい

たい。自由投稿について

も提案されたが、実務委



員会が継続検討とする。

③配布方法

多くの方に読んでいた

くためには、校長や宗

教主任からのアナウンス

など、一言お薦めをお願い

したい。代表者会議で

も提案していただく。

◆今後の方針

座談会は、平和問題

について、富田正樹委員

(同志社)を司会に、3

紙面でも感じられた。会

館に幾度も来ている委員

ムページでも、屋上に出たのは初

めという方が多かつ

た。

年に一度、一日限りの

全国広報委員会であった

より充実した
機関紙として全国広報委員会
東京で開催される

◆同盟事務局を会場に
2013年度全国広報

委員会が、9月28日土

坂田雅雄氏(報知新聞社

キリスト教主義大学部会

委員長(横浜共立学園

のあいさつ、のち、協議

に取っかかった。

◆連載記事
報告事項で特筆すべき

スコットホールにて

トホール(早稲田奉仕

マとしてネットトラ

リスト教会館を一同で

学した。1991年に都

の歴史建造物の指定を

受けているホールは、内

外共に趣のある建物。ま

た、日本キリスト教会

館上からは、東京スカ

イビル、東京ドーム、近

くには大隈講堂が見え

る。都会の中にあつて

静けさを感じられた。会

館に幾度も来ている委員

ムページでも、屋上に出たのは初

めという方が多かつ

た。

年に一度、一日限りの

全国広報委員会であった

に、人の心も変化し）
くのだらうか。そのための
準備は、待ちを要する。
人は待つを楽しむ。生
きて感じる喜びは、
その間に生まれてくる。

8日・9日に、明
院、徳島女子学園と
代表者や協議会が開
く。うすうと眠つ
た教員同僚が、激動
の流しに目覚める時
ている。

(三)

(主事)